

ネジ締め自動化推進 ハイオスロボメーカーと共同展示

ハイオス（東京都墨田区、戸津勝行社長、03・6661・8777）は、ネジ締めの自動化に向け、ロボットメーカーと組み、製品の情報発信や拡販に力を入れる。各種展示会でロボットメーカーのブースに共同出展し、協働型双腕ロボットが同社の手動用電動ドライバーと共同実演



ハイオスの手動用電動ドライバーと川重の双腕型協働ロボットの共同実演

ドライバーを使う様子 ボットの使用例を提示を実演する。双腕型ロボットすると同時に、自動機

と同社の電動ドライバーやネジの相性の良さをアピールし、製品の拡販につなげる。

これまで川崎重工業やABBなど、複数のロボットメーカーと共に同出展をしてきた。独自のビットとネジの組み合わせにより、ネジ頭部のリセス（穴）へビットを自動的に誘導するネジ「インタルク」は、ネジ頭部に傷を与える安定した嵌合が可能。

26日まで東京ビッグ

サイト（東京都江東区）で開催中の自動化

あえて自動用ドライ

バーではなく、手動用

ドライバーとするこ

とで人と協働可能な作業

企業と協力する。

性と安全性を訴求する。

戸津社長は、「ネジ締めの自動化はコストダウンとミスを減らす利点がある。しかし正確なネジ締めの自動化には自動機の能力だけではなく、良いネジを導入しないと難しい」と

説く。

・省人化ロボット展では、鳥羽洋行と共同出展。今後もさまざまな企業と協力する。